

# 学びにくさのある子供の理解と支援 ～高等学校における通級指導の実践～

宮城広瀬高等学校所属 教諭 加茂純  
(A高校にて通級を担当)

# 2Q 通信

My name is SIENTA NO.1 SEP.2020  
担当 加茂 純  
E-mail : kamo-ju328@td.myswan.ed.jp

キーワード：歴史・対象・設置数

先生方こんにちは。通級を担当しております加茂です。これまで約10回の指導機会がありました。あれこれやってみよう計画していたものの、ふたを開けてみると・・・行方は難しであります。

さて、2Q（つぎゅう）通信を通じて先生方に通級の取組や特別支援教育の情報を届けたいと思います。また、先生方のお役に立てるよう「先生方が知りたい情報」も盛り込みたいと考えています。忌憚のないご意見・ご感想をお寄せください。どうぞよろしくお願いいたします。

## 通級って何？いつ頃からあるの？

- 昭和20年代「ことばの教室」から通級の概念が広まる。言語障害、弱視、病弱などについて、義務教育で正式に「通級」が制度化（法制化）されたのは平成5年から。
- 平成18年から「LDとADHD」が通級の対象となる。
- 平成30年から高校の通級が制度化（法制化）された。

通常の学級に在籍する障害のある児童生徒が、各教科等の大部分の授業を通常の学級で受けながら、一部の授業について障害に応じた特別な指導を特別な場で受ける指導形態。

正式名称は「通級による指導」  
特別支援学級ではありません

## 通級の対象は？

- ①言語障害
- ②自閉症
- ③情緒障害
- ④弱視
- ⑤難聴
- ⑥学習障害(LD)
- ⑦注意欠陥多動性障害(ADHD)
- ⑧その他障害のある者で、この条の規定により特別の教育課程による教育を行うことが適当なもの(肢体不自由・病弱及び身体虚弱)

診断の有無だけでなく、生徒の状態で判断することが大切だね。通級開設にむけて、校内委員会での検討や関係者の合意、県教委への申請など必要な手順があるよ。

## 県内の設置校の割合は？

小学校は約3校に1校  
中学校は約11校に1校  
高校は約11校に1校

全国通級設置割合（参考）  
小学校は約4校に1校  
中学校は約11校に1校  
高校は約20校に1校

県高校通級の割合は全国より高め。他県でも設置が増えてきているよ。

ミーは県の支援教育サポートブックキャラクターの「シエン太」だよ。T社の車と似た名前…。ミーの方が先に名付けられたんだけどな…。

# 2Q 通信

My name is SIENTA NO.2 OCT.2020  
担当 加茂 純  
E-mail : kamo-ju328@td.myswan.ed.jp

キーワード：指導内容、指導者

今回の通信は、先生方からよくご質問いただく「何を教えるの？」「誰が教えるの？」「資格は必要なの？」などについて取り上げました。通級の「指導内容」は一律ではなく、教師による生徒の実態把握と、生徒自身の自己理解（困り感・必要感等）によって十人十色であるが故に、わかりにくくなっていると思います。

少々強引ですが、学校に例えると、ある困難を抱えている学校がその困難を克服・打破するために、新しいことにチャレンジしたり、課題を解決したりすることと似ているかもしれません。一つのモデルがすべてを解決する訳ではないので、試行錯誤・ケースバイケース…。例えになっていませんね(苦笑)。

ご質問があればいつでもメールまたはお声がけください。よろしくお願いします。

## 何を教えるの？



特定の教科書はありません。生徒の自立を促す「自立活動」に取り組みむよ。

自立活動は「教科」ではなく「領域」です。

自立活動は、特別支援学校学習指導要領に示されている指導領域です。幼児児童生徒の障害に由来する種々の困難を改善・克服すること、すなわち社会によりよく適応していくための資質を伸ばす指導の必要性を重視して、各教科、道徳、特別活動とは別に、特別の指導領域として設けられたものです。

自立活動の指導は6区分27項目に及ぶ指導内容がもうけられていますが、全ての項目を指導する訳ではありません。生徒の実態に応じて必要な部分を指導の参考にします。(指導内容表は裏面参照)

## 誰が教えるの？

## 資格は必要なの？



自立活動は個別指導が基本。実態把握がとても大切なのだ。

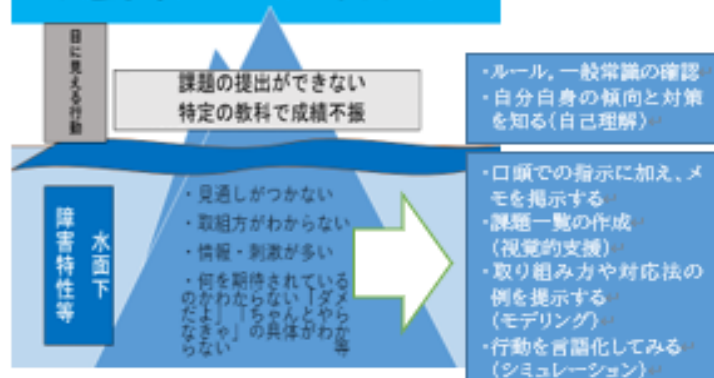
高校通級の指導者には「高等学校教員免許状」が必要です。加えて、特別支援教育に関する知識を有し、専門性や経験のある教師であることが必要です。特定の教科の免許状を保有している必要はありません。

ただし、各教科の内容を取り扱う場合は、当該教科に関する免許状を有する教師も参加して計画を作成し、指導を行うことが望ましいです。

一口に発達障害と申しても実態は様々です。「国語(記述)が苦手」という場合も、自閉症と書字障害等では対応が異なってきます。

## 実態把握と指導について

## 不適応等について 冰山モデル



日常では、生徒自身が「何でできないのか、自分自身からできない」「特段困っていない」ことが多く、その場しのぎで生きていることも…。  
例えば、一言の指導・指示で理解が不十分な生徒は、不注意で失念しやすい、何をすればよいか分からない、「メモ」を書く能力があっても活用できない等々その原因も様々で障害特性に応じた指導・支援が必要です。  
高校通級では「本人の理解」と「自分自身で対応すること」ができるように指導することが求められています。  
(実態把握の方法については改めてお

# A高校これまでの通級対象者は・・・3人

特別支援教育校内委員会で特別な支援や配慮が必要と考えられる生徒の中で、下記の内容に該当し、通級指導が効果的であると判断された者

○コミュニケーションに課題のある生徒

○身の回りのことをするのに課題のある生徒

例) 人の気持ちを押し量れない

自分の思いを言葉で伝えられない

整理整頓ができない

会話がうまくできない

忘れ物が多い

提出物の期限が守れない

など

# 通級指導の事例 授業について

授業の流れ 毎週○曜日の放課後・相談室等・50分  
挨拶 → 今週の出来事 → 今日の活動内容確認  
→ ウォーミングアップ → 主活動 → 振り返り（記録）

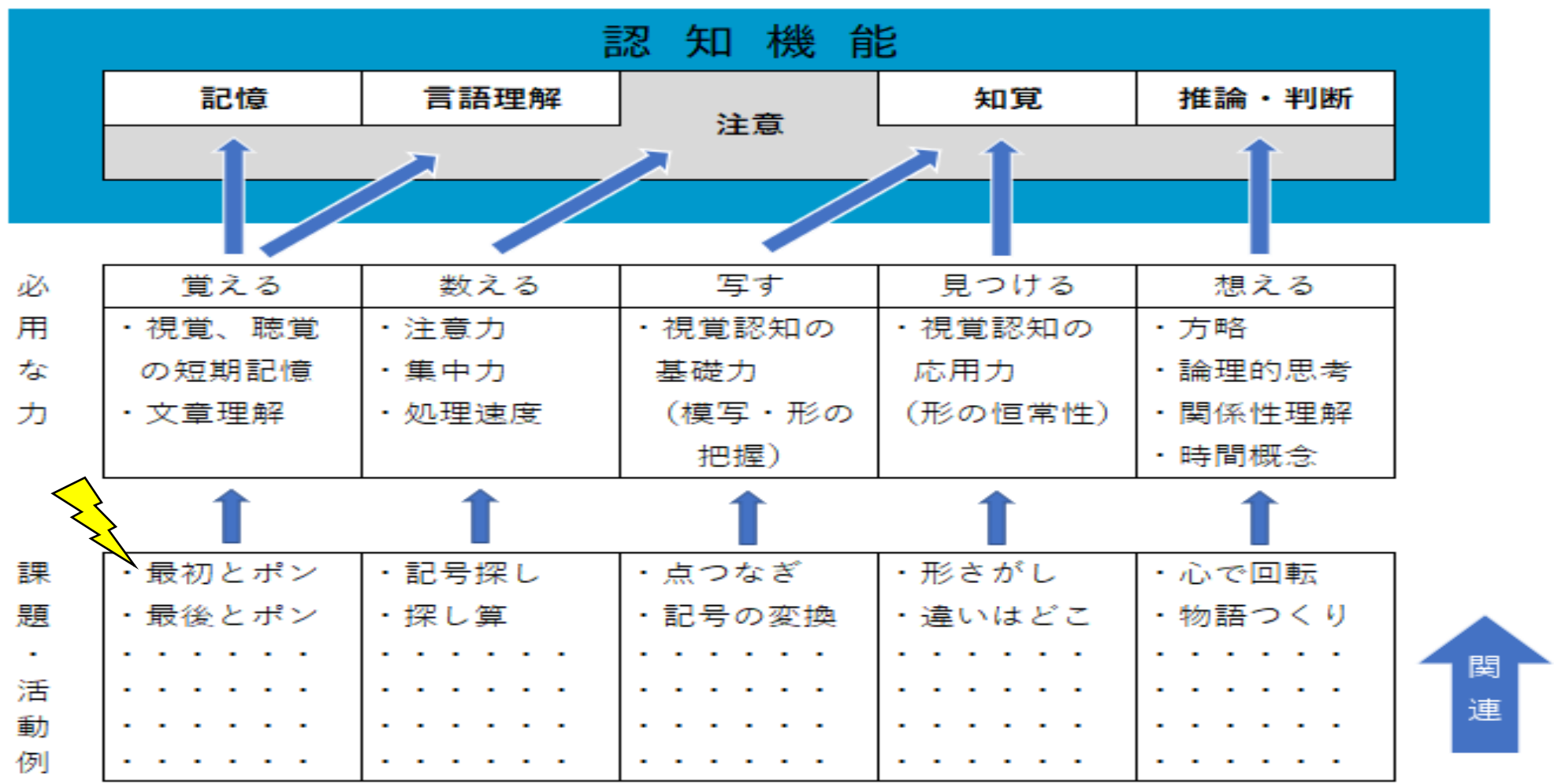
## 内 容

必ず行うもの 今週の出来事、コグトレ※1を使った活動 等

主活動として 自己理解の教材、  
SST※2（教科担へ課題の確認と質問／図書の返却／  
自転車通学のシミュ／想定外の出来事対応等）等

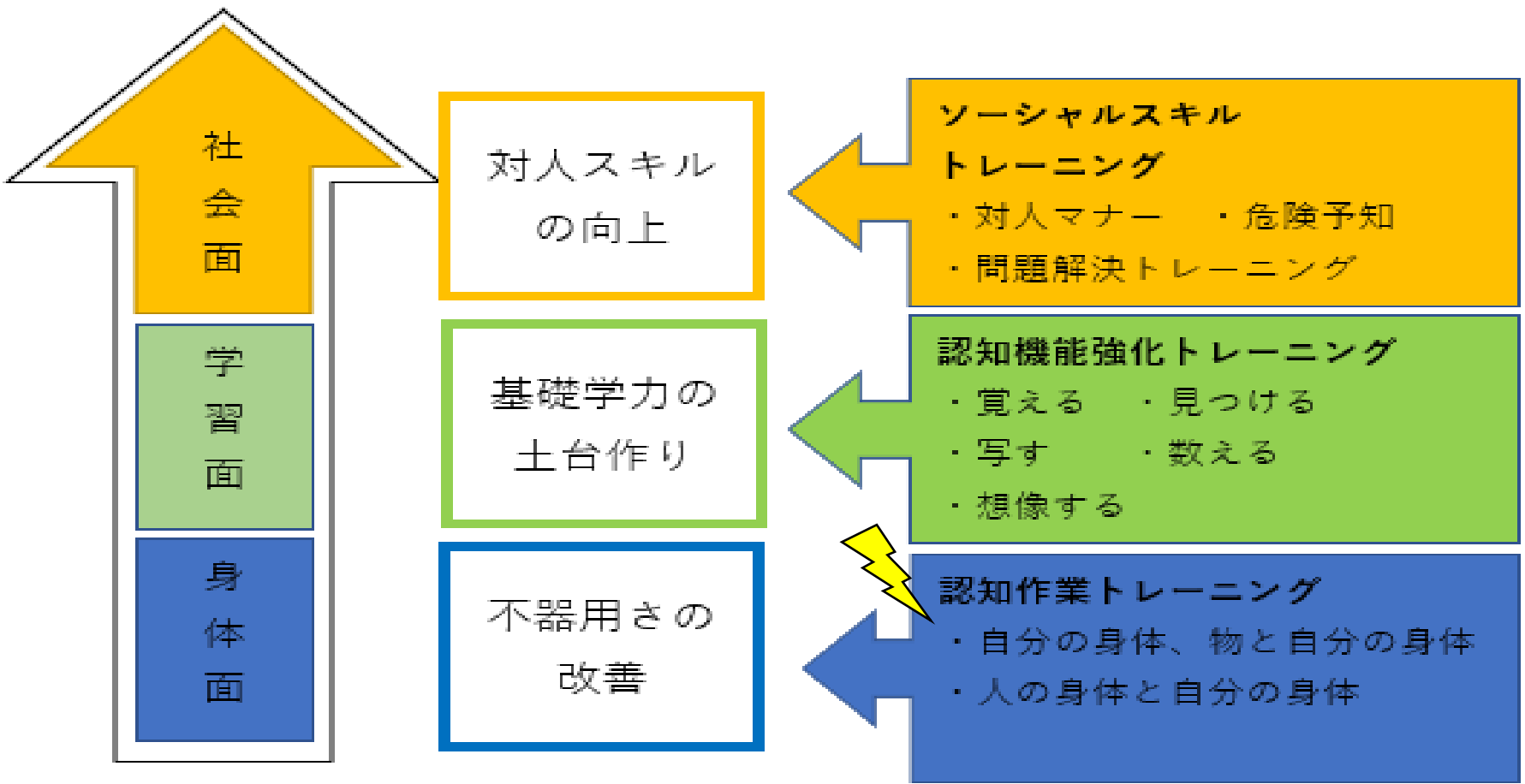
※1 認知機能（Cognitive）トレーニングの略 ※2（Social Skills Training）ソーシャルスキルトレーニングの略

# 障害特性による認知の偏り

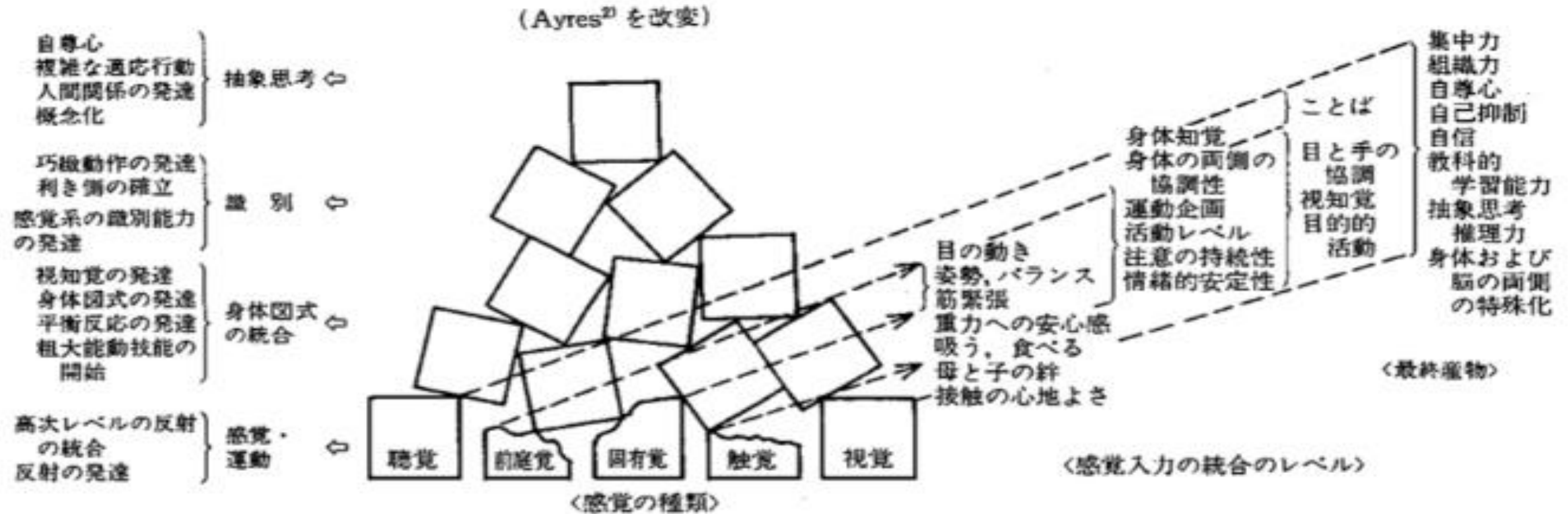


参照：日本COG-TR学会 <https://cog-tr.net/cogtr/coget/> を一部改変

聞く・見る・動く



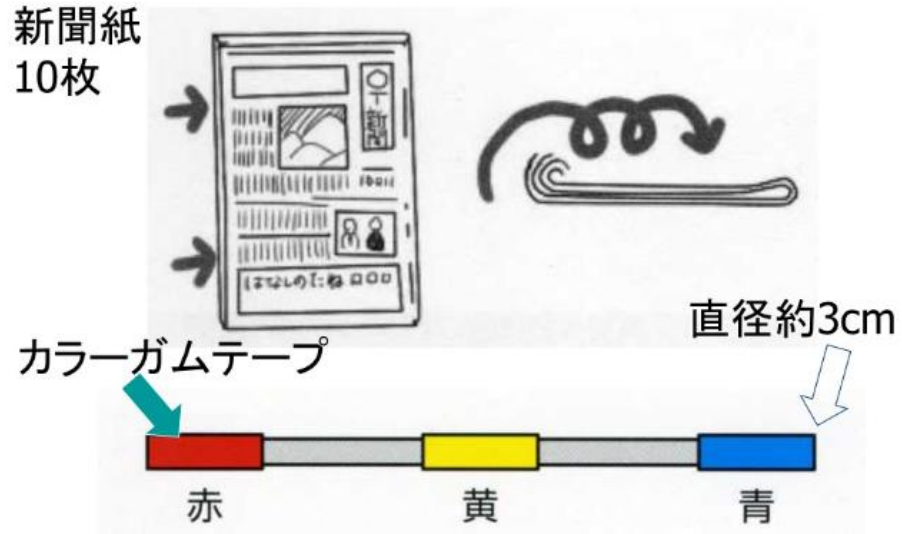
# 運動発達と認知機能について



図

(土田玲子：小児の運動発達 5 運動行為の発達と感覚統合。理・作・療法, 19: 767~775, 1985)

# 今話題のコグトレ棒



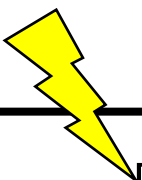
物をコントロールする



身体を知る







# 聞く力のドリル「最初とポン」 (記憶・言語理解)

- 読み上げる文章のどこに集中すればよいか指示をする。
  - ① **文頭の言葉**を覚える
  - ② 文章の中に動物が出てきたら一拍手 (ポン) する
  - ③ 覚えた言葉の答え合わせをする

例) ◎◎**高校**にはカラスが住んでいます  
**電信柱**の上に巣があって、ひな鳥もいるようです  
**生徒**が通るたびに親ガラスが鳴き声を上げます

# S S T とは

★ S S T とは“Social Skills Training”の略。日本では「社会的スキル訓練」、「ソーシャルスキル・トレーニング」、あるいは頭文字を取って「**エスエスティ**」と呼ばれています。

・ **構成的なソーシャルスキルトレーニング** →ある一定のすべきことが決まっていて、その内容を学んでいくこと。

・ **非構成的なソーシャルスキルトレーニング** →特にすべきことが決まっていなくて、その場で起きた問題について、ファシリテーター（指導者）が介入する方法。

★ S S T は次のような手順で行われることが一般的です。

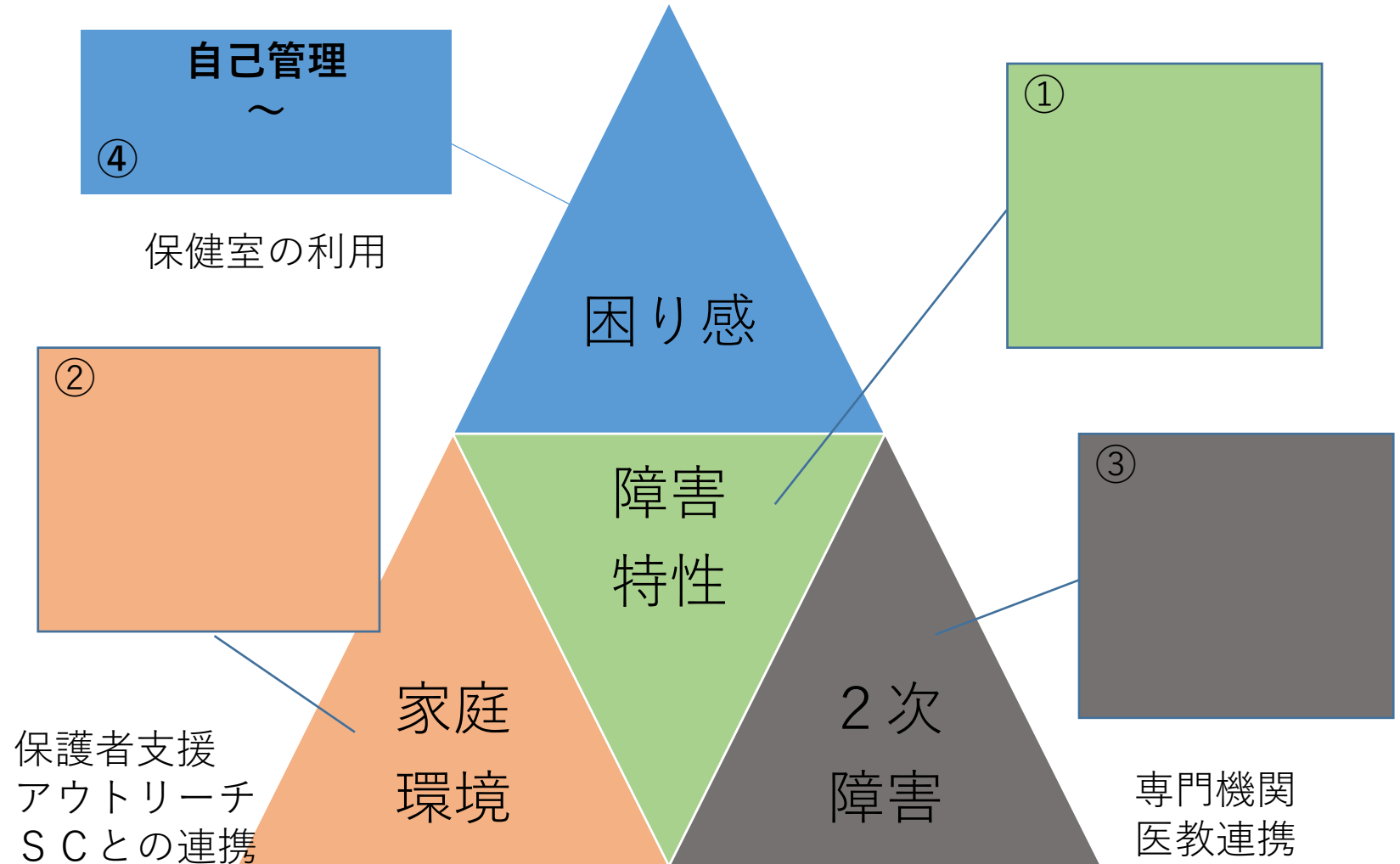
- ① 「インストラクション」・・・ 意義・動機付け
- ② 「モデリング」…………… やり方を見せコツを教える
- ③ 「リハーサル」…………… 学んだことを実際に繰り返す
- ④ 「フィードバック」…………… リハーサルの中で褒める・指摘する

# 通級指導の事例 その1

**【生徒B：2年生男子】** ※事例内容を損なわない程度に改変しています。

- 学びにくさ : スケジュールや提出物の管理が苦手。
- 目 標 : 課題や提出物を自分で管理する。
- 実 態 等 : 発達障害の専門機関で相談経験あり。  
感覚過敏（光）がみられる。  
（前年度から）欠席が多め。

# 【生徒Bの学びにくさを理解する】



# エピソード 【生徒Bの変容について】

- 4月授業開始
- ・自己理解に矛盾はないが、行動への不安が拭えない。  
(提出物一覧表などでチェックしても、教師へ提出することが…。)
- 5月様子の変化
- ・体調不良が日常化し、しだいに欠席が多くなる。
- 6月新たな活動
- ・保護者のカウンセリング開始。バス通学から自転車通学へ変更の勧め。
  - ・自転車通学に関するSST、勉強部屋清掃のSST
- 7月活動の見直
- ・自転車通学を開始してから、登校できる日が増えてきた。
  - ・職員室へ先生方を訪ねて質問や報告をするSSTに取り組む。
  - ・通級では、創作活動等を取り入れモチベーションを高める方向に修正する。

提出物 関係する先生から、未完成課題の提出許可をもらう。提出に関するのSST。  
職員室へ教師に質問に行ったり、遅れても課題を提出する様子が見られた。

# 生徒BのS S T その① 自転車通学編

- S S Tと手順

- ① 「インストラクション」 意義・動機付け

- バスよりも自転車の方が融通が利き、不安も少ない

- ② 「モデリング」 やり方を見せコツを教える

- 申請書の記入・提出の確認。経路を自転車で一緒に走行する。

- ③ 「リハーサル」 学んだことを実際に繰り返す

- 気が向かない時には、途中で教師と待ち合わせるなど柔軟に。

- ④ 「フィードバック」 リハーサルの中で褒める・指摘する

- バスではできなかった（遅刻ではあるが）途中登校もOK！

# 生徒BのSST その② 勉強部屋清掃編

- SSTと手順

- ① 「インストラクション」 意義・動機付け

- 部屋を清掃して提出物などが見つけにくい部屋の状況を改善することで、課題解決につながる。過ごしやすい部屋になれば、勉強も趣味もはかどる。

- ② 「モデリング」 やり方を見せコツを教える

- 山積みの書籍、プリント、雑貨等を仕分ける。ひとつひとつ確認し、本人の取捨決定を重んじる。エリアを決めて実施する。

- ③ 「リハーサル」 学んだことを実際に繰り返す

- 自分でやってみる。（時間がかかる。保護者にも理解と協力を得る。）

- ④ 「フィードバック」 リハーサルの中で褒める・指摘する

- きれいになったエリアを確認し、意義と行動を振り返り価値付ける。

転用はご遠慮ください

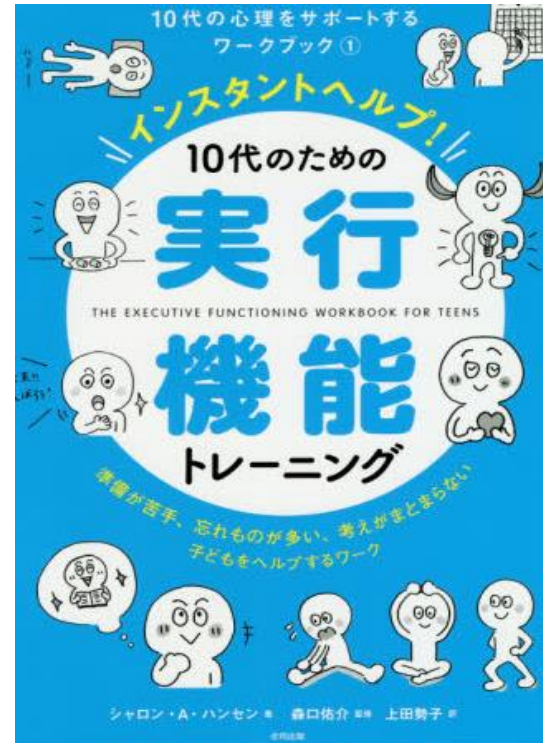
# 教材について 1



三輪書店



明治図書



合同出版

①はじめに断っておくが、ぼくはカップ焼きそばには少々うるさい。どのぐらいうるさいのかというと「西早稲田カップ焼きそば連盟」を組織し、理事を務めているほどである(ただし会員は原田一名)。

②しかし、カップ焼きそばというのは、ただお湯を入れて三分待つだけのカップラーメンに比べるとその工程の複雑さからややハードルが高く、とたんに緊張して冷静さを欠き、耳から煙を噴き出してしまうのである。

③まずはお湯を沸かす。いいぞ原田ここまでは順調だぞう。次にかやくとソースの袋をとりだしそれからええとかやくは今入れて、ソースは……おっと危ないこれはいちどお湯を切ってから、あっしまったまだスパイスの小袋がカップの奥に、ああどうしよう、何なのだまいったまいったと最高裁判所の証言台に立たされた蛭子能取のような勢いで全身から汗を噴き出しながら焦っているところに「ビィィィィィ！」などとお湯の沸騰を知らせるヤカンの笛が鳴ったものだから灰から炎を吹きながら二メートル五十センチほど飛び上がって天井に頭を強打しそうなほど驚いてしまった。

大好きな作家の文体で

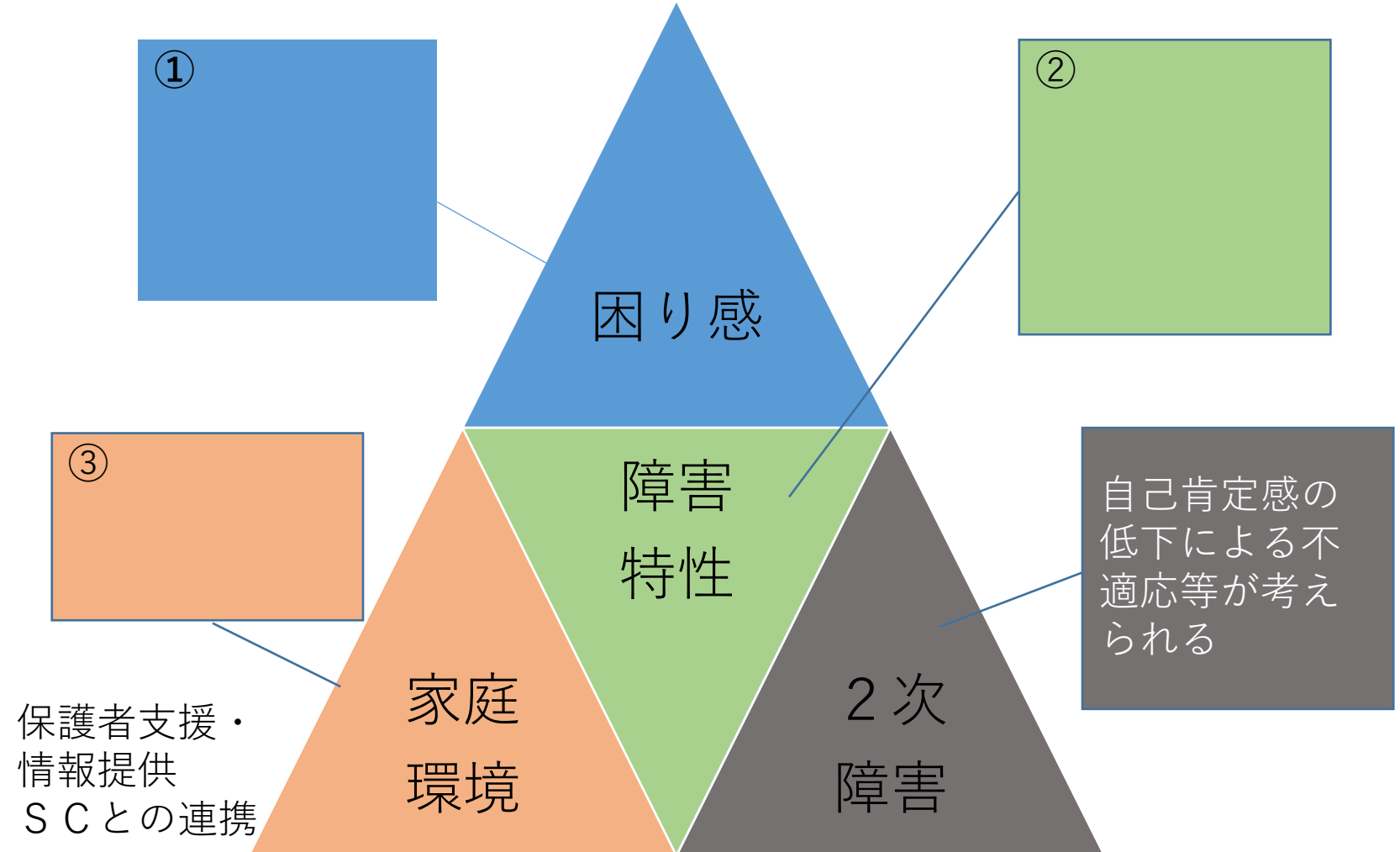


## 通級指導の事例 その2

**【生徒C：2年生女子】** ※事例内容を損なわない程度に改変しています。

- 学びにくさ : 人前では話したくない。
- 目 標 : 考えや思いを伝える。一般的なコミュニケーションスキルを身に付ける。
- 実 態 等 : 特定の友人とは会話ができる。  
本が好きで、いつも本を読んでいる。

# 【生徒Cの学びにくさを理解する】



# エピソード 【生徒Cの変容について】

- 4月以前 ・ある教科の時間。授業で質問されたことに答えられず固まる。教師から回答を求められると奇声を上げパニックをおこす。教師から廊下へ出るよう促されクールダウン。  
・部活動で練習メニューが変更になり、パニックになる。  
・教師から挨拶に対して「3ない」の態度。
- 4月通級開始 ・進学・就職後のコミュニケーションの必要性や、挨拶の意味・効果を確認すると徐々に変化がみられる。
- 5月変化あり 授業中の発問に答える。グループワークの輪に促されて加わる。部活動で後輩の指導を行うなどの変化が見られるようになった。
- 6月 変容 クラスに新しい友達ができる。一緒に進路情報室へ行ったり一緒に帰ったりする報告あり。

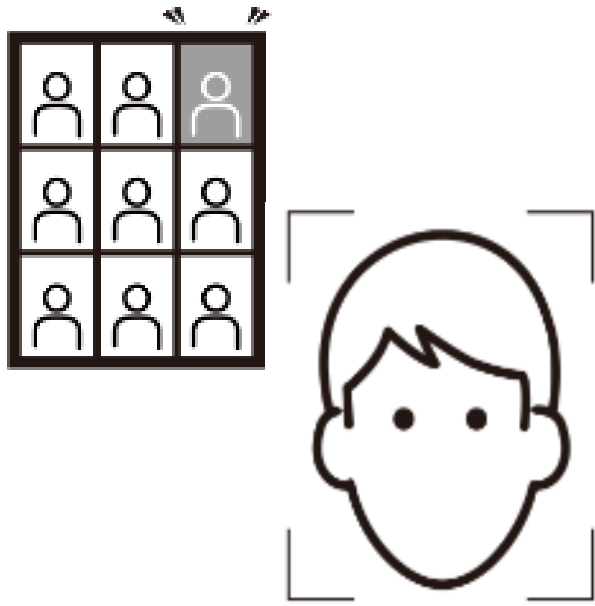
# 教材について 2 - 1

## ワークシート「挨拶について考えよう」

1. どんな場面で挨拶をしますか？
2. そもそも何のための挨拶なのでしょう？
3. 挨拶の効果を考えよう
4. 挨拶をする人としない人の境界線は？
5. クイズ「君の名は」 先生編・友達編

( ① 、進路目標等と関連付けながら  
ワークシートの内容やS S Tの場面を検討 )

# 教材について 2 - 2



1	バッティングセンター
2	テニスコート
3	スタジアム
4	プールサイド
5	グラウンド
6	サーキット

1	フランクフルト
2	チキンナゲット
3	アメリカンドッグ
4	ハンバーガー
5	フライドチキン
6	ホットドッグ

山札の数字でお題を指定

May I have your name?

アルバム・PTA会報等を利用して



人物

実際に話した言葉

心の中で思った事

コミック会話



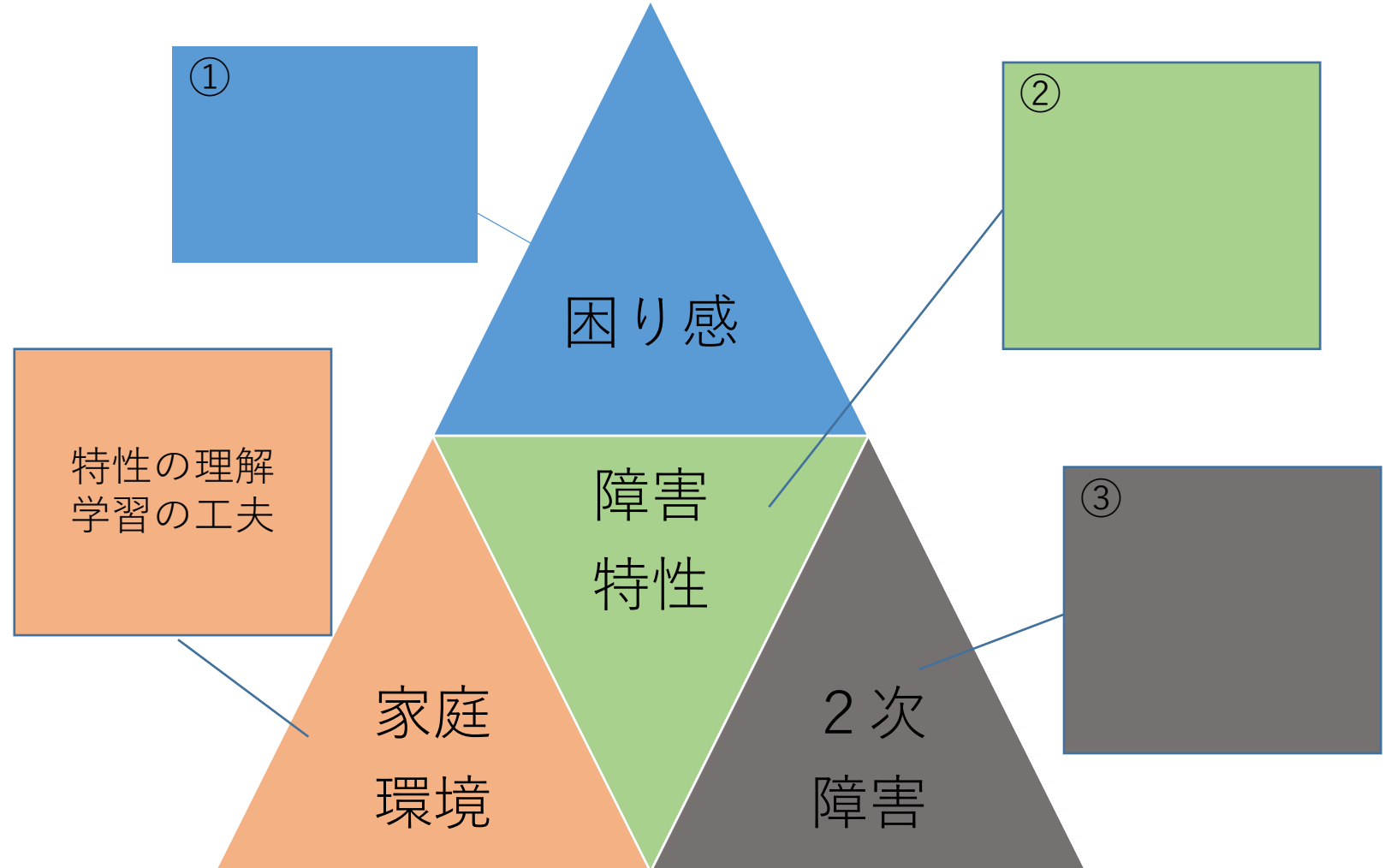
カタカナナーシ

## 通級指導の事例 その3

**【生徒D：2年生女子】** ※事例内容を損なわない程度に改変しています。

- 学びにくさ : ノートテイクや記述式課題に難しさ。
- 目 標 : 自分の得意な学び方を見つけ実践する。
- 実 態 等 : 課題提出ができる教科は限られている。  
友人関係は良好である。  
考えをまとめて話すことに時間がかかる。

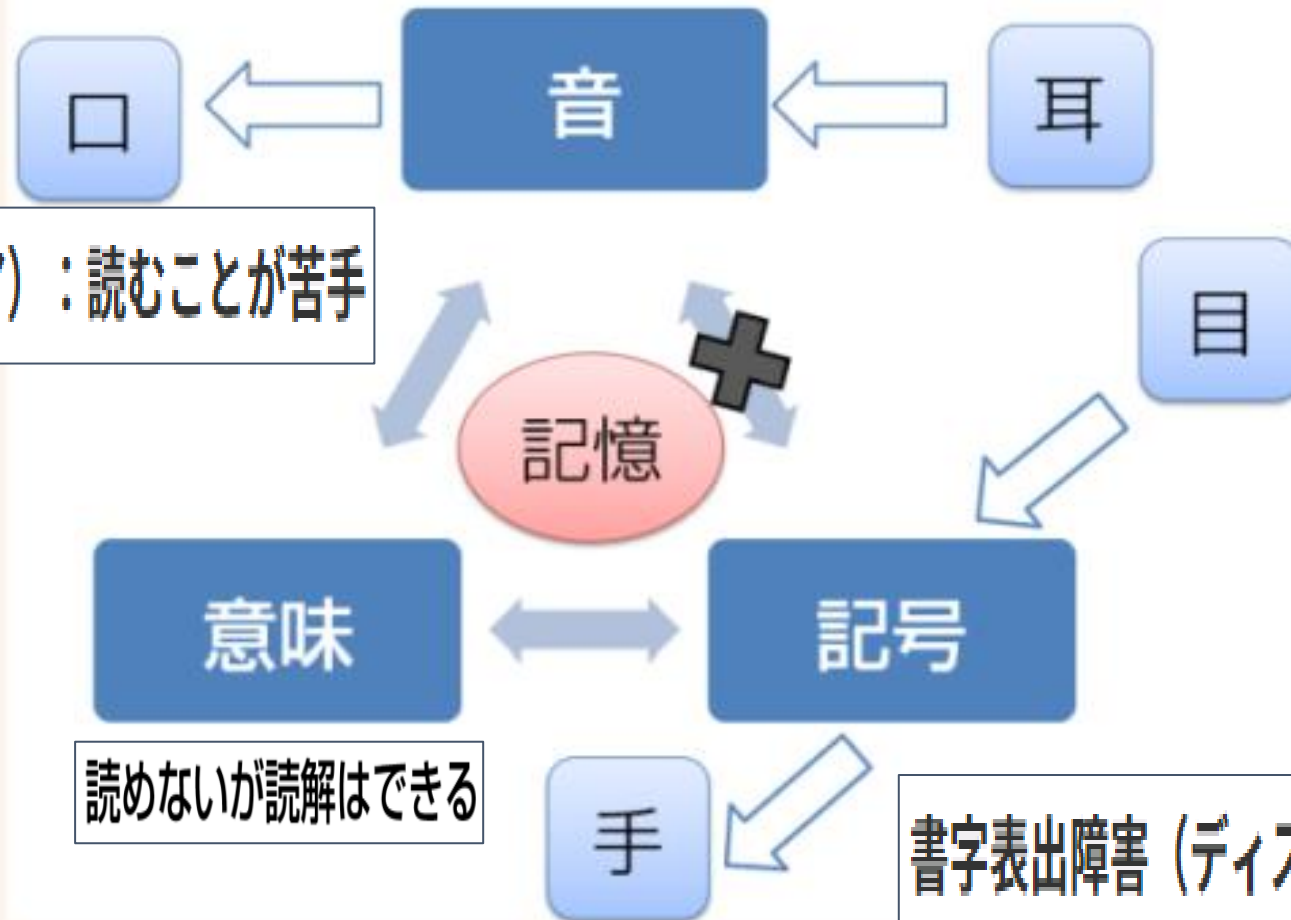
# 【学びにくさのある生徒Dを理解する】





# 読字・書字障害について

## メカニズム(音韻認識)



読字障害 (ディスレクシア) : 読むことが苦手



読めないが読解はできる

書字表出障害 (ディスグラフィア) : 書くことが苦手

一般入試で入学した生徒ではあるが...

- ・ 知的発達
- ・ 聴覚
- ・ 視覚
- ・ 構音等

に問題はないか？

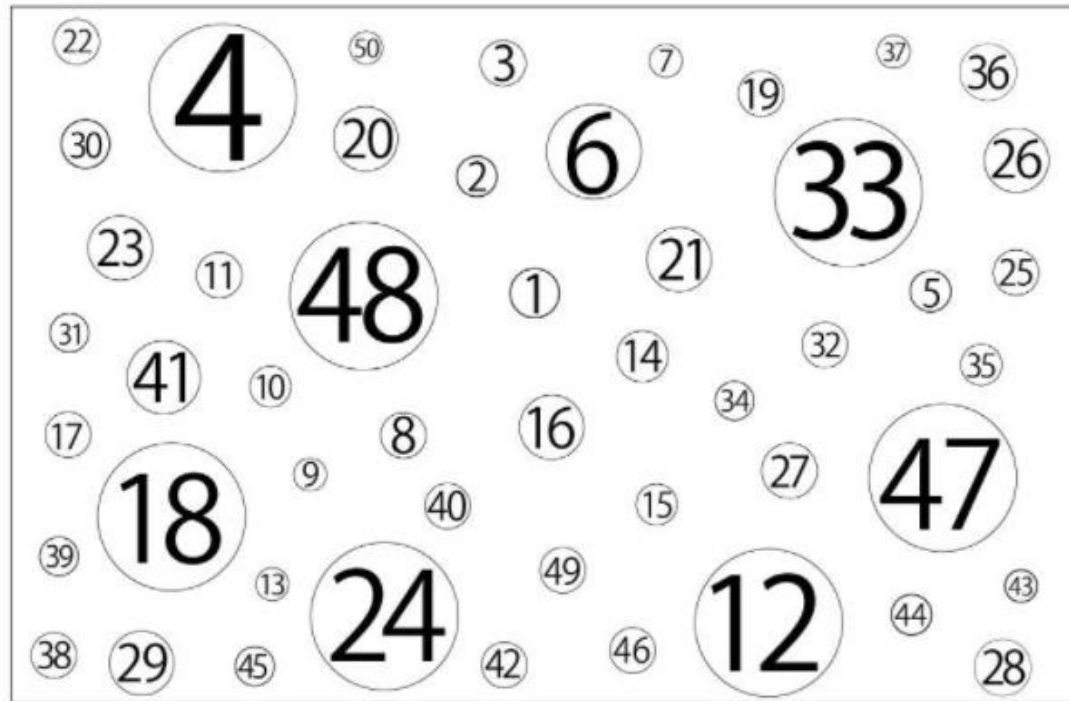


# エピソード 【生徒Dの変容について】

- 4月以前 高校入学後、記述による課題の多さに困難を感じる。  
入学後、保護者から課題の取組について①（ ）。  
②（ ）、教科担当者が気にかける。  
頑張って勉強はするものの特定の教科で苦勞している。  
成績のことを友人から指摘されて自信をなくし、一時期欠席が続くことがあった。
- 4月通級開始 緊張がみられる。質問にうまく答えられないことが多い。
- 5月優先順位 県総体までは部活動を優先する。スケジュール管理はスマホを利用。考査や進路関係の提出物が多くなってくることから、タスク管理の方法を相談。勉強方法の工夫は未着手。
- 6月一進一退 考査に手応えがあったためか課題の提出が疎かになる。遅刻など生活面で気になることも。

# 教材について 3

## ビジョントレーニング (跳躍性眼球運動 初級) 数字探し ~丸に入る数字50を追ってみよう~



Copyright(C) WAKASA SEIKATSU Corporation. All rights reserved.



ビジョントレーニングメノコト (わかさ生活)  
<https://kenkyu.wakasa.jp/hitomi/knowledge/visiontraining.html>

### <質問項目>

ア~オの各設問に、それぞれ4つの文章があります。その中で自分に当てはまるものから順番に4点、3点、2点、1点と得点をつけてください。同じ得点を2度選ぶことはできません。

#### ア：重要な決断を下すときは

- a : 勘で決める (腑に落ちる感じ) ( ) 点
- b : 「聞いた感じ」のよさで決める ( ) 点
- c : 「見た感じ」のよさで決める ( ) 点
- d : その内容をよく調べて、検討してから決める ( ) 点

#### イ：人と議論するとき、もっとも影響されるのは

- a : 相手の声のトーン ( ) 点
- b : 相手の論点が見えているかどうか ( ) 点
- c : 相手の議論の論理性 ( ) 点
- d : 相手の本当の気持ちとコンタクトがとれているかどうか ( ) 点

#### ウ：自分の気持ちは

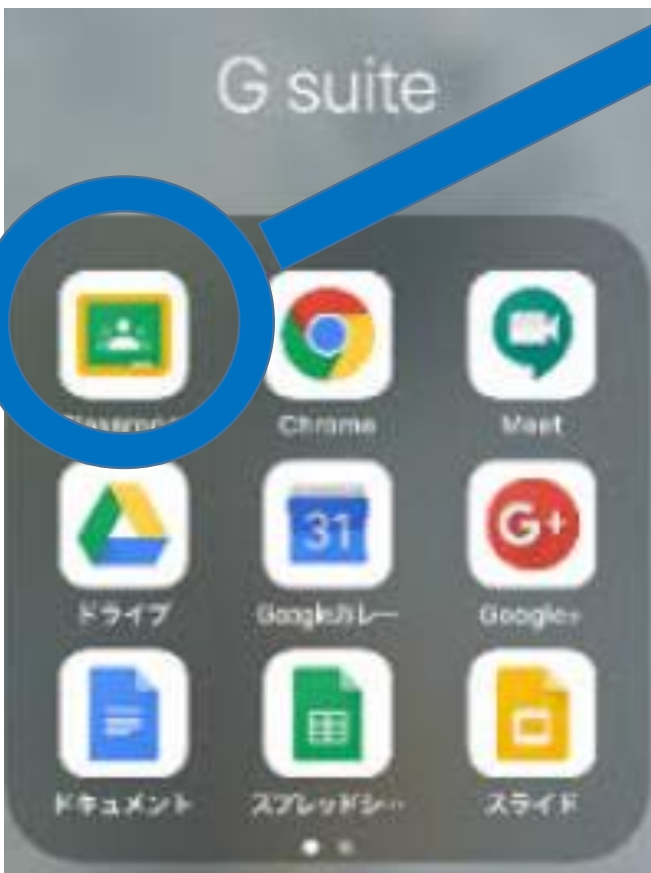
優位感覚チェックテスト (簡略版)  
<http://www.ne.jp/asahi/kani/nabe/nlp.html>

# ICTの活用

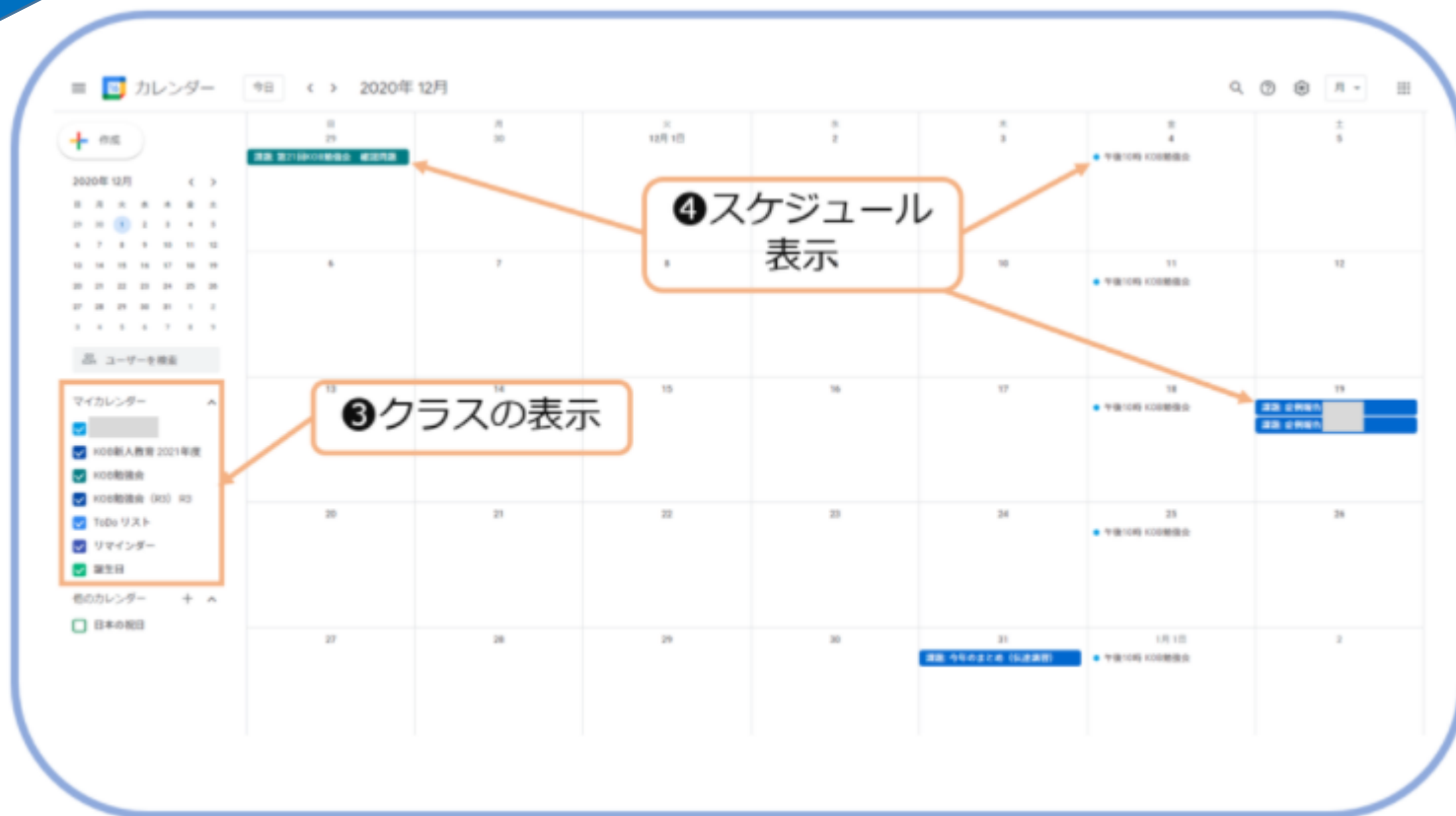
転用はご遠慮ください

個別学習室 1組

クラスで共有...



GoogleClassroom



Googleカレンダー

## 校内支援 【気になる生徒の相談】

- 担任等から「気になる生徒」の申し出があれば、授業を参観する。ケース会で特性からくる学びにくさ等の見立てや支援を紹介する。関係する先生にご理解いただき、観察を継続することが多い。
- 直接アプローチした案件は  
「昼休みに図書委員として活動している生徒への働きかけ」  
「保護者との教育相談及び電話相談」
- その後、保護者・本人と合意が得られれば通級指導の準備に。